

令和6年度第3回学校運営協議会 議事録

❖日時 令和6年10月16日(水) 14:30~16:00

❖場所 湖南高等学校 図書館

❖参加者

委員(敬称略・順不同)

佐藤宗良、和田祐樹、渡部智子、大内紀男、薄良枝、矢島敦、佐藤忠男、  
本田康浩、野口智行 (欠席:桑名秀一郎、石田慶仁、西脇恵美)

事務局

菊池由喜男、会田房男、森修、佐藤修一、渡部実和子  
(欠席:久住貴紀、五十嵐稜)

❖内容

1 開会のことば 菊池教頭

2 会長あいさつ

現在、稲刈り真っ盛りだが、未だに暑さが続いています。

今年は猛暑が続いたが、今年度の花いっぱいコンクールにおいて湖南高校の花壇は優秀賞を受賞しました。明るい町づくりの一環でもあり、通った人にもきれいだなと思ってもらえればと思います。

ICT関係について、先日、1/3の学校ではタブレットをほとんど使っていないというニュースを読みました。文科省から様々な通知通達が下りてきていると思うが、もっと現場に足を運び、実際現場の声を反映させるべきだと感じました。

本日も様々な話題があがるかと思います。諸々、よろしくお願いします。

3 校長あいさつ

本日はオブザーバーとして郡山市政策開発部政策開発課の宗形敏広様にご臨席賜りました。よろしくお願いいたします。

今年度も13名の就職希望生徒に対し、委員・地域の皆様よりコミュニティ・スクール面接指導をしていただき、本当にありがとうございました。現在、11名が内定をいただいております。1人は結果待ち。もう1人は第一志望への内定は叶わなかったものの、別の就職先を探し、受験に向けて大変前向きに準備を進めています。

自衛隊志望の生徒も一次を通過しております。そのほか、進学する生徒を含め全員の進路決定に向けて、今後ともご指導ご協力をお願いいたします。

10/11～ポートの東北大会が開催され、本校から2年の影山康太が出場し、シングルスカル第7位の成績を残しました。全国大会の切符は得られませんでした。本人からは「悔しい。ただ、どの部分で成績が出なかったのか、はっきりしている。この冬はその部分を克服したい。そして部員8名で団結して頑張っていきたい。」という前向きなコメントを聞くことができました。

過日、道徳教育先進校視察として、森教諭と広島県立瀬戸田高校の見学に行っていました。瀬戸田高校もコミュニティスクールで全校生徒90名、1学年1クラスの学校です。コミュニティスクールとして、お互いバックアップしながらよい取り組みをしていけたらと思います。城北埼玉高校との交流も順調で、人との交わりが深まり、広がりつつあります。

本日も委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

#### 【オブザーバーの宗形様より】

政策開発課は、地域の活性化、移住促進、支援等を担当しています。

学校支援については、小中学校までが教育委員会、高校からは政策開発課が担当となります。これから湖南高校と連携し、湖南高校、湖南地域の活性化に繋がられるよう努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### 4 委員の委嘱

会津乗車自動車（株）郡山湖南営業所所長 西脇 恵美 氏

※本日所要により欠席のため紹介のみ

#### 5 学校からの報告事項

- (1) 第2回学校運営協議会議事録について p2～7
- (2) 令和6年度上半期の教育活動を振り返って（アンケート結果より） p8～9
  - ア 下半期に向けた取り組みについての報告
  - イ 各委員からの御意見等の確認

和田氏 人数が少ない学校なので、数名の変化が大きく影響してしまっているのか、学校行事としてのマンネリ化なのか、はたまた学力に比重を置いたが故に地域の取り組みへの意識が下がったのか。先生方の所見をお伺いしたい。

教頭 まず、生徒たちの「ボランティア」の捉え方が曖昧で、正確に回答できていな

い可能性がある。また、おっしゃるとおり、分母が少ないため数名の回答により、大きく影響してしまっている。他にも、その時の人間関係による精神状態も数字に反映されているようである。

和田氏 生徒と教員に配られたアンケートの内容を今後お示しいただきたい。

教頭 アンケートの見直しも考えているので、次回内容をお示しして、ご意見をいただけたらと思います。

会長 先生方の働き方改革について、取り組まれていると思うが、生徒とのふれあいの時間は影響しているのか。

教頭 生徒のバスの時間が決まっているので、生徒との関わりにおける先生方の多忙感に直接的な影響はないが、その分、勤務時間内での関わりは非常に濃くなっている。

(3) 「蕎麦プロジェクト」及び「米粉大作戦」の取り組みについて p 10～18

(4) その他の取り組みについて p 19～26

会長 先日の敬老会ばかり、湖南高校生に出し物の協力のほか、準備、片付け、などしていただき、本当にありがとうございました。また、これから文化祭の方のご協力もよろしくお願いいたします。

## 6 協議

(1) 「地域みらい留学」に関する意見交換 p 27

(2) 湖南高校の魅力を生徒数確保に繋げるための取り組みについて

本田氏 前回の運営協議会で地域みらい留学について説明をいただき、実際に説明会に赴き、見て聴いて感じてきた。まず、参加する学校の多さに驚いた。また、本気度も高く、のぼりや法被を作り、プロジェクターでの宣伝も力が入っていた。

一生懸命アピールして、自分の学校に来てもらいたいという気持ちが伝わってきた。ただ、実態として小規模な学校が多く、「学校を存続させたい」というのが一番の目的である学校が多い印象。この取り組みを1～2年やっても一人も留学希望者がいない学校や、寮や下宿先などの受け皿がないために合格者を絞っている学校などもあった。人気のある学校と実績がない学校に分かれているのが現状。

また、最初は学校の先生が一生懸命やっているのかと思っていたが、町の職員や教育委員会が中心となってやっている様子であった。学校に対する地域の思いが強い。地域がお金と手間をかけて学校をアピールしている。地域にその学校が

必要なんだ！というアピールが強い。学校のPRとしてうちわやカバン、御朱印などのグッズを製作し、少しでも話を聞いてもらえるよう工夫している様子であった。湖南学校で考えたときも、地域の熱と、行政関係の力の入れ具合が大切であると感じた。まずは、寮や下宿などバックアップ体制が整っていないと現実的に受け入れは難しい。人気のある学校では、舎監や寮母さんが常駐していたり、個室があったり、魅力的な環境が整っている。

その他、留学希望理由については、「今の学校についていけないから、知らない土地で新しくやり直したい。」という理由だけでなく、「この学校でこれがしたい。」という前向きな思いを持った生徒も中にはいた。

佐藤 魅力化コーディネーターが各ブースにいた。卒業生を呼んで、実際の体験談を話している学校もあった。全体的にお金がかかることは予想される。寮を作ったり、ハウスマスターを雇ったり、現実にするためには、多くの人のバックアップが必要だと感じた。うまくいっている学校とっていない学校があり、様々な課題はあるようだ。

教頭 説明会には589組、1178名が参加しており、実質2時間ほどの滞在で名刺交換等のやりとりができたのは6校。

<山形県立新庄南高校>

クロスカントリーで募集。費用補助が大きい。経済的な支援を受けながらクロスカントリーができる…という特色があり猪苗代中学から行った生徒もいる。

<高知県立嶺北高校>

寮生を受け入れながら塾を開講している。この高校に通っている生徒は無料で21時まで学ぶことができる。総探を活用しながら進学に力を入れている学校。

<その他>

広島の高校に通っている高校1年生の子が近づいてきて、留学した理由について話してくれた。「留学先の高校には海外の姉妹校があり、海外とも繋がることのできる魅力について、母からの勧めがあり、留学を決めた。」とのことであった。このような前向きな生徒の入学は、学校をより活性化するだろうと感じた。

【地域みらい留学ZOOM会議の報告】校長より（別紙参照）

高校が要になるとのこと。うちの高校で考えたときに、すでにより循環がある。

市内の生徒をしっかりと受け入れながらも、核となる生徒の受け入れもできた

らよい。p 35「契約のスケジュール」→留学入学生を募集する契約に申し込むのであれば、p 35に載っているような年間スケジュールとなる。

生徒たちが住む場所については確認中だが、前向きに検討してくださっているところもある。費用については個人的には現在の物価状況から10万円はかかるのではないか。

宗形氏 来年度はまず登録料がかかる。

薄氏 20年前くらいの基準だと、一か月6万円くらいだった。10万を高いと捉えるか否か。

校長 費用等については今後要件等。

大内氏 下宿先について、何件かあたってみたが、高齢のためなかなか難しい人も多い。ただ、湖南高校が頑張るなら一緒に頑張りたいという人もいた。他に受け入れ可能な人がいるとしたら福良地区以外になる。区長会で福良地区に呼びかけをしていただけたらと思う。また、光熱費については、湖南は冬場は大きく上がるので、さまざまな条件も確認する必要がある。

この取り組みは、高校だけでなく、まず地元が頑張る必要がある。

薄氏 小中学生のバスもあるし、自転車でも通学できるので、福良に限らず、声をかけてみていいのでは。

会長 地域として受け入れをするためには、下宿民宿などについて区長会で話題に出して、協力をいただかなければならない。

和田氏 この内容については進める方向でお願いしたい。ただし、プラットフォームの説明会を実施したとしても受験生がいるかはわからない。湖南高校のメリットを考えなければならない。課題は二つある。まず下宿先宿泊先として、保護者が安心安全な場所を提供できるのか、地域のコミュニティや組織力はしっかりしているのかも重要である。そのことを踏まえると、最初に受け入れる一人目は市内から通わせてもいいのではないか。二つ目、湖南高校の魅力をどう伝えるのか、全国へ発信する材料として明確に打ち出さなければならない、猪苗代高校との違いも示す必要がある。

福島県の復興教育コーディネーターで長谷川勇吉さんという方がいらっしゃる。地域未来プラットフォームのコーディネーターのサポート、相談役として話を聞いてもいいのでは。

また、せっかく城北埼玉高校や瀬戸田高校との交流を進めているので、その二校に本校の良さを聞いてみるのも良いのでは。

会長 この会の方向性は「進める」と判断したいが、学校としてはどうか。

教頭 地域みらい留学の実施について、皆さんのご意見を集約し、運営協議会として前向きに進めたいと思います。ただ、実施時期や手続き等については、行政との調整や予算の問題もあるため、こちらに一任いただければと思います。

### (3) その他

- 雪灯籠祭りについて寺島実行委員長より挨拶。
- 資料p 29の「その他」について教頭より説明。
- 「学校魅力化評価システム」について校長より説明。

和田氏 学校運営協議会として、先生方の異動についても要望を伝えることができるシステムとなっている。

継続性を意識した要望を出すことも良いのではないか。

## 7 閉会のことば

### ※ 諸連絡

次回、第4回の開催日は12月4日(水)を予定。

(16:00終了)